

地方経済情報 Weekly No.353

経営者の学び直し ～人生100年を生き抜く～

1. 人的資本へ注目

岸田首相は10月3日の国会の所信表明演説で、経済政策として人への投資を「3年で4,000億円」から「5年で1兆円」のパッケージへ拡充することとしました。

また、欧米では人材を企業価値向上に直結する資本と捉えて人材価値の開示が進んでいます。日本でも上場企業など約4,000社に対し、2023年3月期決算以降の有価証券報告書から人的資本の開示義務が課されることになり、人的資本への注目が広がりつつあります。

2. 学び直し

一方で、デジタル化などの技術革新や、人口減少のなか生産性の改善に対し能力を高めることの重要性が認識され、働く人の学び直しの必要性が高まっています。その機会を設け適正な評価を行うことは、優秀な人材の確保や育成を通じ企業価値を高めることにつながります。

さらに、経営者は、事業方針を定めたり、意思決定を行うなど、責任を伴った判断には、社員とは異なる知識・スキルが求められてきます。しかしながら十分な学習時間を確保できていないと認識している経営者が多い状況です(図表1)。

3. 経営者の取組

経営者には、人口減少、コロナ禍や脱炭素など社会構造が大きく変わるなかで、経営課題の解決にあたり、新しい知識や情報を蓄積しながらスピード感をもって対応することが求められています。学習時間を意図的に確保することは、最終的に売上増加にも差が生じます(図表2)。

人生100年と言われる今、継続して学ぶことは経営者も社員も同様に必要となります。学ぶ姿勢から適切な経営判断につながり、社内にも前向きな影響が生じていきます。

【図表1】経営に関する学習時間に対する自己評価



資料：(株)帝国データバンク「中小企業の経営力及び組織に関する調査」(2021年11～12月調査)
(注) 経営に関する知識・スキルを習得するために、直近5年間に実施した取組について、「特になし」と回答した者以外に対する質問。

【図表2】経営に関する学習時間確保の状況別、売上高増加率(中央値)



資料：(株)帝国データバンク「中小企業の経営力及び組織に関する調査」(2021年11～12月調査)
(注) 1. 経営に関する知識・スキルを習得するために、直近5年間に実施した取組について、「特になし」と回答した者以外に対する質問。2. 経営に関する学習時間の確保状況について、「学習時間を確保せずに、空いた時間に学習」、「学習時間を確保せずに、必要に応じて学習」と回答した者を「学習時間を意図的に確保していない」として集計している。3. 売上高増加率は2015年と2020年を比較している。